

# あなやま

社会福祉法人 信和会

〒407-0263

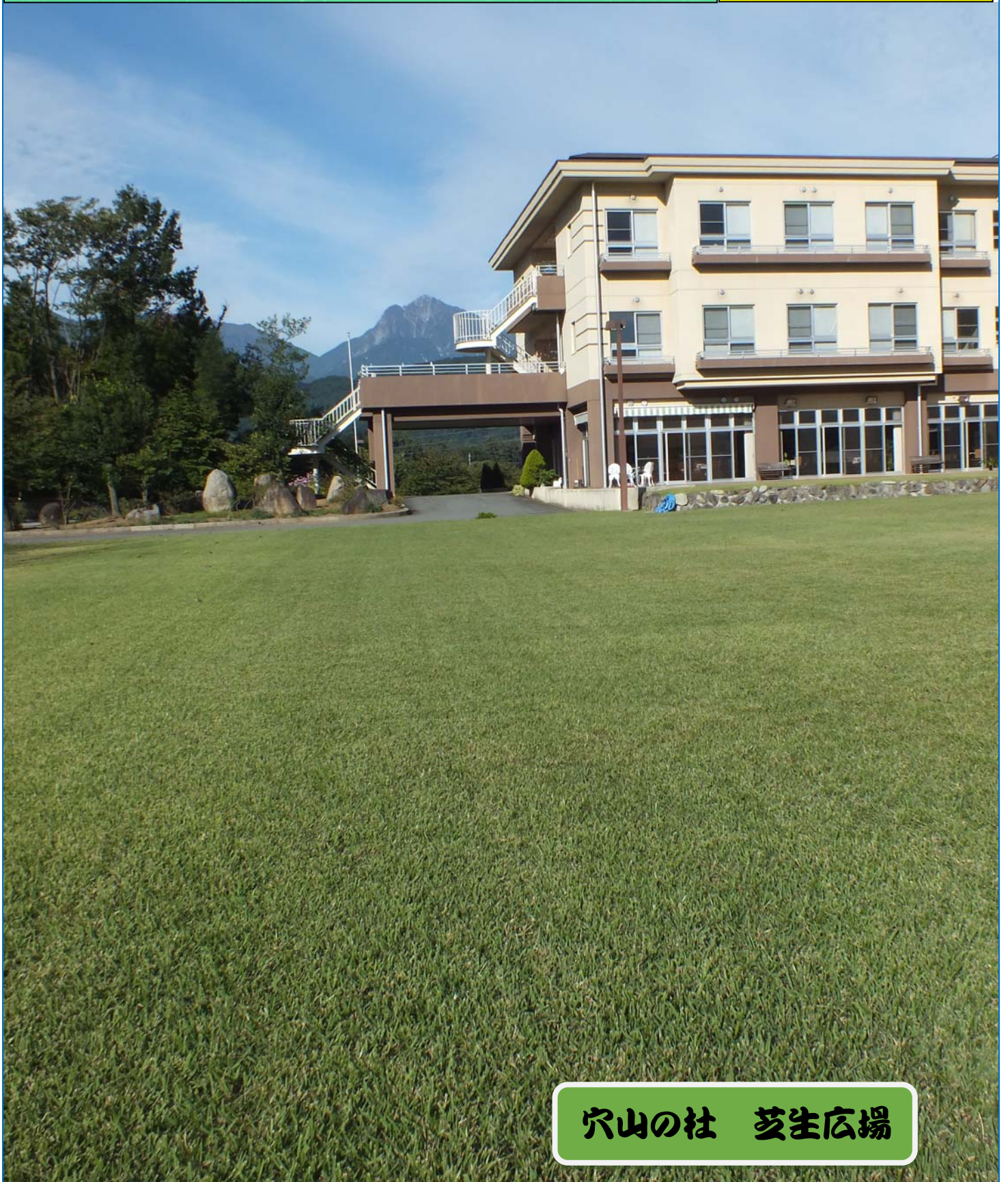
山梨県韭崎市穴山町 5164

TEL 0551-25-5900

FAX 0551-25-5906

<http://www.sip-shinwakai.jp>

編集責任者 栗原 信



穴山の社 芝生広場

# 「パウル・クレー だれにもないしょ」を観て

一般財団法人 武田の里文化振興協会

代表理事 林 紘 子



先日、宇都宮美術館で催された、パウル・クレーの優品を集めた回顧展「パウル・クレー だれにもないしょ」を観に行ってきました。クレーの作品は、詩的、音楽的で、謎を秘めた形と美しい色彩が、とても魅力的で多くの方々が来館しており、緑あふれるゆったりとした美術館で、私も、至福の時を過ごして来ました。

ある知人から「人類は、言葉を得た。だから、芸術が生まれた。」と思うけど、この意味が解るか?」と言われました。言葉で表せない、思い、感情が絵になり、音楽になり、文学になり・・・芸術が生まれたという事ですね。

「芸術とは、目に見えないものを再現するのではなく、目に見えるようにする事だ」と、クレーは言っています。

今、葦崎文化ホールの仕事に携わっている私ですが、まさに原点に立ち返る言葉でした。葦崎文化ホールは、峡北・葦崎の文化の礎となる事を目的に、20年前に建てられた施設です。ここでは、一流の芸術を鑑賞することが出来、市民自ら芸術文化を創造し、伝統文化を継承して、より豊かな市民生活が生まれる様にしていかねばなりません。

クレーの絵は、目の前にある風景ではありません。目の前の風景を見ながら、その風景の向う側、変わるのであろう姿を想像して、そこから流れてくる、光や音をいろいろな手段を用いて描いています。音楽家でもあった彼は、楽譜とも思える、幾何学的な画面、色の花びらの置き方で、思いを表しています。その思いをどこまで感じ取る事が出来るか。

「人間力」 動物にはない“人間の力”を磨いていなければ、受けとる事が出来ないように思います。文化

ホールの仕事の内、チケットを完売したり儲けを出したりする事は大事な事です。しかし、その使命は、目に見えない、すぐに結果の出ない所に力を入れ、市民、一人一人の心の奥深い所にしみる、水滴を落としていく事、そして「人間力」を高めていく事ではないかと思えます。そしてそれが目にみえる様にしていく事。日々土を耕し、種をまき、丹精こめた肥料を与える。正に先人達が延々と続けて来た米作りのように。

訪れるだれもが、心躍らせ、楽しみ、心豊かな、清々しい気分になって帰っていく、そんなホールでありたいと再確認しています。

20世紀初頭の世界大戦の最中、厳しい環境の中で生きながら素晴らしい作品を残したクレー。今回の展覧会では、約110点の絵画が展示されましたが、その内、クレー自身が愛着のある作品、画業に重要とした作品は非売品とされていて、40点展示されていました。「だれにもないしょ」で観せてもらった様な気がし、その出会いに私自身の仕事への責任、生き方を教えられた展覧会でした。



スイス首都ベルンに建設された  
『パウル・クレー・センター』

# 本部だより

社会福祉法人 信和会 法人本部  
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390  
TEL 0551-25-6100  
E-mail: [honbu@sip-shinwakai.jp](mailto:honbu@sip-shinwakai.jp)



## 理事会・評議員会報告

開催日：平成27年 8月2日(日)  
開催場所：特別養護老人ホーム 穴山の杜 集会室  
審議事項：第1号議案 信和会の現状と社会福祉の状況について  
第2号議案 事業経過報告について  
第3号議案 その他



平成27年度第2回目の理事・評議員会が開催されました。

今回の会議において、審議・協議事項はなく議案の通り報告事項のみとなりました。

特記すべき内容としては、介護報酬改定における利用者の負担額増及び事業所の収入減について、どのように対処しなければならないか、また、中長期に対する事業計画にどのように影響していくかが今後の課題となる等の報告と対策について報告がありました。今後、具体的に内容について提案する事となりました。

更に、今後改訂が決定しているマイナンバーの付与に伴う個人情報保護法についての対応について、関係省庁の取り扱いが不確定で有り定まらない事から、具体的に運用を開始する平成28年1月に向けて準備を進めることとし、次回会議において提案する事となりました。

## 大村 智 博士 ノーベル医学生理学賞 受賞

### 平成の吉田松陰・大村智先生

先にガードナー賞(日本人で初めて)を受賞したとき、ノーベル賞の本年受賞は確信していましたが、それでも発表を聞いたときには、私事のように嬉しく涙の出る思いだった。

先生を中心とする「同事会」のおり、対話する機会がありますが、韮崎市神山町鍋山の生家を改装して「蛸雪寮」と称して、数十年にわたって学生と寝食を共にしながら学び後進を育ててきました。その門下生の多くは、北里大学教授・助教授をはじめ各界へ多くの有為な人材を輩出し、その他若い芸術家のため資金援助するなど、人を育てる為の努力は一向に衰えることはありません。

これからは健康に留意しながらも長生きしてノーベル賞の重みを十二分に味わって頂きたい。この快挙を皆で称え祝賀いたします。



社会福祉法人 信和会 会長 栗原信雄

山梨県韮崎市出身。韮崎高校、山梨大学を卒業後、都立高教諭。化学の研究者に転身し、米国ウエスレーヤン大学客員教授などを経て、北里大学特別栄誉教授に就任。感染症などの創薬の研究で国際的に高く評価され、1995年には現在、公益社団法人となっている山梨科学アカデミーを設立。芸術に造詣が深く、学校法人女子美術大学の理事長を務め、郷里韮崎市に女流作家の作品を常設展示する韮崎大村美術館を建てられました。

また、当法人 特別養護老人ホーム穴山の杜 ギャラリーにも絵画を寄贈頂いております。是非、足をお運び下さい。



韮崎大村美術館

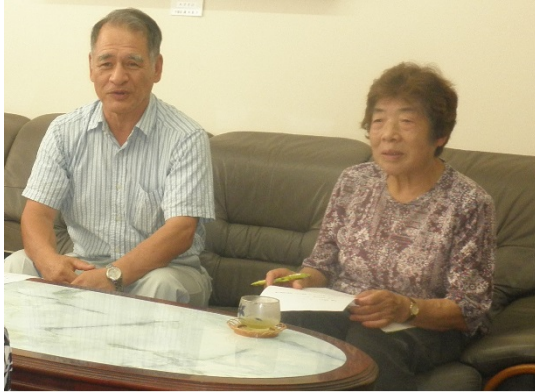
山梨県韮崎市神山町鍋山1830-1 TEL 0551-23-7775

# 穴山の里だより

障害者支援施設 穴山の里  
〒407-0263 韮崎市穴山町 5164  
TEL0551-25-5900  
E-mail : [sato@sip-shinwakai.jp](mailto:sato@sip-shinwakai.jp)



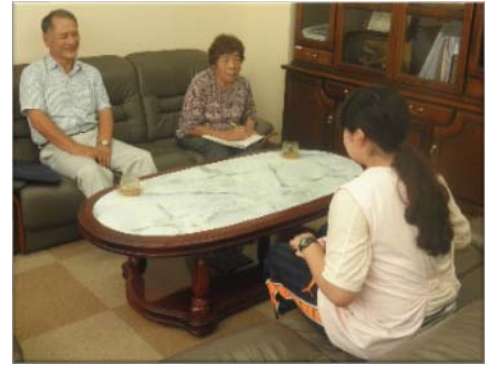
## オンブズマン紹介



伊藤 正大さん 今福てる子さん

8月6日 今年度第2回オンブズマン会議が開催され、新人職員2名と利用者さんの面談を行いました。

なお、オンブズマンのお二方には、今年4月より2年間引き続きお願い致します。



なかよし会主催

## 流しそうめん大会



夏の風物詩である流し素麺を行いました。穴山の里の竹を使い、約10m以上の流し竹を作製しました。利用者全員参加で行うことができ、「長い竹だね」、「楽しいね」と笑顔溢れる流し素麺となり、手作りのつゆも好評で、「おいしい」という声が多くありました。



## 穴山保育園運動会

9月12日穴山保育園より招待を頂き、運動会に参加してきました。「大玉ゴロリン」や「ストライクをねらえ」などの競技を楽しみました。



普段から行事毎に交流している幼児と競技に参加し体を動かしたことは、利用者さん達にとってとても良い気分転換となりました。

## 地域防災訓練

8月30日 震度6強の地震を想定とした地域防災訓練に職員1名と利用者さん10名で参加しました。ふれあい広場に避難しその後、地域の住民と旧穴山体育館に避難移動しました。また東日本大震災の貴重な体験談を聞く機会となりました。





## 赤い羽根 共同募金



10月1日(木) 穴山駅前にて、赤い羽根共同募金活動を行い、早朝の時間ではありましたが、多くの方から募金して頂きました。利用者さんも、「おはようございます」、「募金お願いします!」と元気な声で活動を行いました。募金にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



## 障害者文化展表彰式



9月3日から開催されました山梨県障害者文化展で当施設入所者の田中宗治さんの絵画が奨励賞をいただきました。県内数千点の出展作品の中からの受賞です。



表彰式参加後、「次はその上を狙います」と今後の作品作りに意欲的でした。

## 書道クラブ外出

9月24日 書道クラブの外出で、富士河口湖へ行ってきました。湖畔を散策したり、遊覧船に乗ったりして、景色を満喫しました。利用者さんからは、「船が良かった」「また行きたい」という感想があり、とても有意義な外出となりました。



Lala

## なごみの郷敬老の日イベントに参加しました

敬老祝いのイベントとして、なごみの郷を訪問しました。男性の方には、ペットボトルのキャップで作製したループタイを贈り、女性の方には、同様に作製したブローチを贈り、なごみの郷の利用者の方から「かわいいね」、「ありがとう」と喜びの声があがり、穴山の里利用者さんとの良き交流会となりました。



## 縄文プロジェクト2015

緑と大地の会主催の穴山縄文プロジェクトに利用者さん5名が参加し、縄文土器作りに参加しました。歴史、粘土の感触を楽しみながら、みんな一生懸命土器作りに取り組んでいました。最後には、縄文料理を食べ縄文時代の生活を味わう事が出来たと思います。11月には焼き入れをし、完成を楽しみにしています。



# 穴山の杜だより

特別養護老人ホーム穴山の杜  
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390  
TEL0551-25-6100  
E-mail : [mori@sip-shinwakai.jp](mailto:mori@sip-shinwakai.jp)



季節の移り変わりは早いもので、気が付けば金木犀の香りが漂い秋を感じさせる季節になってきました。世の中を二分し混乱した安保国会も終了し、世間が少し落ち着きを取り戻した感があります。

施設運営では住み慣れたご家庭の延長として、安心していただける介護、雰囲気づくりを目標に、各ユニットでの特徴を生かした活動を進めております。これらの取り組みの成果が徐々に出てきており、皆様からご好評をいただいております。1人1人の利用者の笑顔とご家族の安心を大きな励みとして、より一層努力を重ね充実した介護を目指してまいります。



## 施設の危機管理 ～その2～

誰もが信じがたい記録的な大雨による、鬼怒川堤防の決壊と被害面積の大きさや東京湾を震源とする地震、阿蘇山の噴火が発生するなど、自然災害に対する対処法・身構えが極めて大切になってきております。前号でもお知らせしたように、危機管理委員会では災害を想定した施設での対処法について、検討を進めております



災害により電源がすべて途絶えた場合、公共水道・自家水道が使用不可の場合等あらゆる事態を想定しその時何をすべきか、その事態に備えての備蓄は如何に等々、又職員の行動指針を作成し、入居者の安全を確保し施設に与えられた業務遂行に万全を期すことを目的としています。この活動の一環として地震の規模を体験するため、9月14日に山梨県立防災安全センターから地震体験車を派遣していただき、地震の揺れを体験しました。地震・雷・火事・親父と言われるように地震の恐ろしさは昔から言われています。東日本大震災(3.11)に起きた最大震度7の揺れは想像を絶するもので、体験者誰もがその揺れの強さ、大きさに驚きと恐怖を覚え、地震に備えることの大切さが痛感されました。この地震体験については、地域の多くの方々にも是非体験していただきたいと思っておりますので、次回開催時にはご案内を差し上げますので、ご参加していただければと思います。

## 感染症の予防について...

秋から冬に向かう季節となりますと心配されるのがインフルエンザ、ノロウイルス感染症等の感染問題です。空気が乾燥するこの時期は特に注意しなければなりません。特に高齢者をお預かりする介護施設ですので、感染症を発症させないために安全衛生委員会を中心に感染対策マニュアルに基づき細心の注意で予防に努めます。又、入居者は感染症に対する抵抗力が弱く感染が拡大しやすい状況にあることを認識しなければなりません。感染対策の大切な柱として、感染経路の遮断が挙げられます。

1、感染源(病原体)を持ち込まないこと 2、感染源を持ち出さないこと 3、感染源を拡大しないこと です。

特に施設においては、施設内で新規に発生することは稀であり職員、面会者などが施設内に持ち込むことが多いのです。職員の健康管理、手洗いの励行、うがいの励行が重要になります。ご家族の面会についても自粛していただく期間が設定されますので、ご協力をお願いします。



〈 安全衛生委員会 〉

# 短期入所生活介護事業所通信

7月着工以来、順調に建設が進行しており、建物の概容がはっきりしてきました。現代の建築工法の素晴らしさ、特にコンピューターで設計された部材が、寸分の狂いもなく確実に組み立てられていく過程には驚かされます。来年2月末完成時には、多床室3部屋×4床、個室8部屋の20人の利用が可能になります。木の香りと柔らかな温かな雰囲気が利用者の気持ちを癒し和ませてくれると思います。



10月



7月



8月



9月

## 秋号 トピックス

暑い日が続く中、亀3丁目では1階にて冷やしたぬきそばを食べました。目の前で調理師が麺を茹で、出来立てをいただきました。

## イベント食



「さっぱりして、美味しかった！」おつゆまで飲み干してしまいました。

## ぶどう盆栽

岩下幸夫様より、葡萄の盆栽をいただきました。毎年寄付して下さい、玄関を華やかに、甘くいい香りにして下さいます。ありがとうございました！



ユニットにて栽培した、キュウリやシソを「いい色で美味しそうだよ」「本当はあまり背丈を伸ばさない方がいいだよ」などアドバイスも含め、楽しんで収穫しました。



## ユニット菜園

慣れた手付きで、キュウリを輪切りし、浅漬けを作りました。後日美味しく召上がったそうです。



## 喫茶店

2ヶ月に1度の喫茶店がOPENしました。目の前で挽いたコーヒーと、今回のお茶菓子は水ようかんやプリンをいただきました。アイスコーヒーも用意していましたが、生憎雨が降り気温が少し低かった為、ホットコーヒーや抹茶ミルクの売れ行きが良かったです。ゆったりとした時間を満喫しました。



## 咲きました!

穴山の杜玄関前の花壇に植えられた琉球朝顔が咲きました。元気に蔦をぐんぐん成長させ、何輪もの花が咲きました。綺麗に咲く朝顔に元気をもらいました。



# わ〜く 穴山の里だより

多機能型事業所 わ〜く穴山の里  
〒407-0263 韮崎市穴山町 4433-1  
Tel : 0551-25-5866  
E-mail : [work@sip-shinwakai.jp](mailto:work@sip-shinwakai.jp)



皆さん、こんにちは。わ〜く穴山の里支援員 堀井 実です。  
昨年3月よりわ〜く穴山の里に勤務して、1年6ヶ月が過ぎました。目標工賃達成指導員として取引企業様との連絡調整を担当し、利用者の皆様に安定した作業が提供できる様に頑張っております。

支援員として更に知識や経験を積み重ね、利用者の皆が楽しく安心して働ける様、責任と緊張感をもって精一杯頑張っていきますので、どうぞよろしくお願ひ致します。



## 芸術の秋、食欲の秋



桃源文化会館のパイプオルガン見学



手作り昼食メニュー



生活介護利用者の作品

# 共同生活 事業だより

共同生活事業所 (わ〜く穴山の里内)  
〒407-0263 韮崎市穴山町 4433-1  
Tel : 0551-25-5866



私がケアホーム宿尻の世話人として働くようになってから4年ほど経ちました。そしてこの4月より、世話人の仕事から更に一步踏み込んだ業務にも携わることになりました。地域での生活の場及び日中活動先の確保など、日常生活上の支援も含めた業務に携わることになり、ベテラン職員の方々と元気な利用者さんたちの双方からもまれ、鍛えられながら、エキサイティングな日々を送っています。

私自身がしっかりした仕事ができるようになるために、覚えなければならないこともたくさんあるのですが、それと同時に、利用者さんの様子を観察し、成長するために必要な支援も行わなければなりません。これは大変なことなのですが、先輩方の行動を参考にしてスキルアップに努めようと思っています。

自分たち職員が利用者さんを支えるのと同様、自分もまた、社会のあらゆるところから支えられて生きているのだということを忘れずに日々、励んでゆきたいと思います。

共同生活支援員 飯野 泰崇



ケアホーム宿尻



グループホーム食事風景



介護施設への慰問(太鼓演奏)



# さくらだより

相談事業所 さくら  
〒407-0263 韮崎市穴山町 4914-1  
Tel : 0551-45-7710



## 「相談支援の現場から」

相談支援事業所「さくら」が平成24年7月に開所し、早3年が経ちました。相談員となる前の私は定員50名の障害者支援施設に長らく身をおいており、地域に所在していても施設独自のルールがあったり、時間で区切りをつけたりと、どこか普段の生活とはかけ離れた世界にいたようです。実際に私自身が相談員として地域に出て、まず感じたことは「地域の自由さ」です。その話を市役所でした際に職員さんから「あなた自身が地域移行した気分でしょう！」と言われました。とても衝撃的な一言でした。施設や病院などを長らく利用されている方の中には私と同じように一つの大きな枠に身を置くことに慣れ、その状態が当たり前と感じる方もいると思います。施設や病院を否定しているのではなく、必要な方が必要な時期にそれらを利用することはとても大切なことです。しかし「地域に出る力」や「地域で過ごす方法」を知るタイミングを逃し、現状の生活で満足されている方がいることも事実です。今回相談支援業務に携わり、障がい者が地域を軸に生活を送る事でいくつもの事例に向き合い、また、多くの研修を通して「地域で当たり前に暮らすこと」の大切さを学びました。地域には「自由」と「選択肢」があります。それと同時に「市民としての責任」と、「地域との関わり」など自由な環境にあるからこそ、守らねばならないルールもあります。相談員は「障がい福祉サービス」の利用につなげるのみではなく、そのような一人ひとりの状況に応じて地域の出来事一つ一つにも傾注していくことを必要とされます。業務を通じて様々な場面で躓いたり、失敗したり、悩むこともありましたが、しかし一人では解決できないことも様々な関係者のお力添えがあり、一步踏み出すことも出来ました。私は相談員としてはまだまだ微力ですが、利用される方の思いに『empathy (共感)』する気持ちを忘れずにまた一步、明日から頑張っていこうと思います。



相談支援事業所 さくら  
相談員 伊藤美鈴



### 普通救命救急講習会 開催

9月4日 峡北消防本部からお越し頂き、職員20名に対して普通救命救急講習会を実施いたしました。この講習で身につけた知識と実技を、非常時に役立て尊い人命を救えればと感じました。これからも、継続して講習会を実施し全職員が修了するよう計画いたします。



## 感謝録

(平成27年6月16日から平成27年9月15日)

～ご寄付を頂きました～ (敬称略)

ありがとうございました。感謝いたします。

石澤應彦・岩下幸夫・藤田 元・佐藤親雄・  
伊藤正大・かぶちゃん農園・フードバンク山梨・

～ご協力を頂きました～ (敬称略)

### ☆ボランティア

千野公洋 (太鼓)・阿部光雄 (歌謡)・島津泰子・  
長坂泰子・小林秀子・細窪房美 (歌謡協力)・  
田中康子 (絵画指導)・足立悦子 (ピアノ演奏)・  
平出恭子 (布草履) 飯野祐子 (習字)・松坂陽恵・  
韮崎高校1年生19名・ロバとうさぎの会 (朗読)・  
甲府愛宕山キリスト教会

## ・歌碑を巡る旅・

平成25年に穴山町内の公民館に建立しました、  
『権藤はなよ』さんの歌碑を紹介致します。  
今回は、穴山町重久公民館です。

### 『 露草とこおろぎ 』



日本中が大村先生のノーベル賞受賞の話題で持ちきりです。当法人会長とも親交が厚く、大変に喜ばしい事です。  
今回、受賞理由の偉大な薬は伊豆半島のゴルフ場近くのありふれた土の中から分離・分析した菌から始まったそうです。  
私達の身近な自然環境の中から命を救う物質の発見。改めて自然を守る大切さを感じました。

(I・Y)

### 編集後記

## 訪問録

(平成27年6月16日から平成27年9月15日)

### ☆教育実習 (敬称略)

◎優和福祉専門学校

澁谷純子

◎帝京福祉専門学校

矢崎裕太・古沢文章

◎帝京学園短期大学

小島奈弘・五味まりあ

◎聖徳大学

政木怜美・橋本蒔月・野口朋美・富永優美

◎聖徳大学幼児専門学校

宮坂恵美・大内 悠

◎鶴川女子短期大学

石山瑠奈・池谷 泉

◎山梨学院短期大学

成島沙矢・三井日和・三井千穂・宮原稚奈

◎北杜高校

相山璃里・飯室怜央・清水亮太

## 第30回 「地域ふれあい夏まつり」

今年度も皆様のご協力のもと天候にも恵まれ第30回地域ふれあい夏祭りを開催いたしました。地域・関係業者の皆様のご理解とご協力、誠にありがとうございました。



ハイビスカス フラダンス



石垣島”み〜くん”ライブ



各施設 利用者と職員との競演